

第 2 回 特殊なニーズのある青年の大学移行支援ワークショップ 開催要項

大学・大学院での快適な生活を目指す障害や慢性疾患のある青年と支援者のための「大学移行支援ワークショップ」を下記要領で開催いたします。

米国モンタナ大学における障害学生移行支援プログラムと（財）数理科学振興財団らが開発した高校生の数理科学教育のための数理の翼夏季セミナーを基に実施します。本ワークショップは、高等教育で快適な生活を送るために参加者全員（中学生以上の当事者と支援者）でワークショップを構成し継続する研究事業として行います。研究協力説明書と開催要項にご賛同いただいた強い熱意・関心のある方のご応募をお待ちしております。日程が合わない方、応募が遅れた方へも何かできることがないか検討致しますので、御関心のある方は応募用紙を御送りください。

記

行 事 名 : 第 2 回 特殊なニーズのある青年の大学移行支援ワークショップ（愛称 検討中）

主 催 : 厚生科学労働科研「障害者の地域生活移行に関する支援についての研究」班

期 間 : 平成 22 年 8 月 6 日（金）10:00～ 8 月 8 日（日）13:00

* 原則として 2 泊 3 日、1～4 人部屋で泊まります。

* 会場から徒歩圏のホテル（フォーレスト本郷または鳳明館）に宿泊します。車椅子対応トイレは 1 階に 1 つ、ユニバーサルルーム 1 室に 1 つとなります。

* はじめての参加者は 8 月 5 日午後に主催者と個別面談を行います。

* 最終日は保護者の参加も可能です。

開 催 地 : 東京大学医学部 教育研究棟 2 階 第一セミナー室（東京都文京区本郷 7-3-1）

目 的 : 1) 高等教育（大学、短大、専門学校、大学院）入学・修学を目指す障害や慢性疾患のある青年が、快適な学習・生活・就労を成就するための考え方と技能を習得すること（権利や利用可能なサービスを知り、獲得するための交渉する技能を修得すること）。各参加者には必要に応じて 1 台のノートパソコンとそれを利用するために必要な支援機器を大学入学後半年までの最長 3 年間、無償で貸し出します。

2) 学年・障害や疾患種別・地域をこえた交流の機会を作り、将来につながる人脈を作ること。（参加者メーリングリストなどにより交流・情報交換は継続します。）

3) 支援者・介助者・家族との関係について考えること。

4) ワークショップの効果を事前・事後のアンケート、ワークショップと事後交流の記録から明らかにすること。

参加者に刺激を与え、豊かな活躍の芽が育まれることを祈念しています。

内容(予定) : 講義、ゼミナール、情報技術習得実習、参加者発表、交流会など
参加者の必要に応じて、昼間の介助・資料の事前配布・手話通訳・要約筆記を調整します。テ
ープ起こしの報告書は終了後に作成します。

時間は変更することもあります。

8月6日

10:00-12:00 開会
アイスブレイク
自己紹介ゲーム
12:00-13:00 昼食 (大学生協食堂)
13:00-13:30 大学障害学生コーディネーターの仕事 (渡部 Taylor 美香 : モンタナ大学)
13:30-14:00 質疑応答
14:00-14:20 移動
14:20-15:50 東京大学バリアフリー支援室見学 (予定)
15:50-16:10 移動
16:10-16:40 星加良司 (東京大学教育学部講師)
16:40-17:40 質疑応答
17:40-18:30 ホテルにチェックイン
18:30-19:30 夕食 (学生街のレストラン)
19:30-20:30 入浴
20:30- 自由時間
23:00 就寝

8月7日

8:30-9:30 前日の感想をPCに入力する
9:30-10:00 情報技術を使った経験 (1回目参加者 : Aさん)
10:00-12:00 情報技術実習 (プレクストーク・ポケットを使う) (シナノケンシ)
12:00-13:00 昼食
13:00-13:30 片岡麻実 (カタオカ発達障害パソコン教育研究所)
13:30-14:30 質疑応答
14:30-14:40 休憩
14:40-15:10 機能的制限 functional limitation に対して大学で配慮を求める具体的な方
法についてのグループディスカッション
15:10-15:30 グループディスカッションの報告
15:30-16:00 大学で受けた支援 (1回目参加者 : Bさん)
16:00-16:30 友人関係の課題 (1回目参加者 : Cさん)
16:30-17:00 総合討論
17:00-18:00 構内散策 (生協など含めて)
18:30-19:30 夕食 (学生街のレストラン)
19:30-21:00 入浴
21:00- 自由時間
23:00 就寝

8月8日

9:00- 10:00 振り返り : 修了式
10:00-10:30 ライフ・スパンと障害 (東俊裕 : 弁護士、障がい者制度改革推進会議担当室長 内

閣府参与)
10:30-12:00 質疑応答
12:00-13:00 懇親会 (医学教育棟 13階レストラン)

講師 : 渡辺 Taylor 美香 (モンタナ大学障害学生支援部 コーディネーター)
(講演順) 参考資料 : <http://www.dinf.ne.jp/doc/japanese/resource/ld/dss.html>
<http://www.dinf.ne.jp/doc/japanese/resource/social/usstudents.html>
http://www.rehab.go.jp/rehanews/japanese/No305/3_story.html

星加良司 (東京大学教育学部講師)
(株)シナノケンシ 実習指導
片岡麻実 (カタオカ発達障害教育開発研究所)
東俊裕 (弁護士、障がい者制度改革推進会議担当室長 内閣府参与)

費用 : 約 2 万円 (宿泊費・保険・朝食費など実費)
会場までの往復交通費・昼食・夕食・懇親会費用は各自御負担下さい。
* 費用は、当日、受付で申し受けます。参加決定後のキャンセルにはキャンセル料がかかる
ことがあります。

応募資格 : 1) 快適な大学・大学院修学を目指す障害・慢性疾患のある中学 1 年以上 (年齢・障害や疾患の種類や程度・希望大学は問いません)。
2) 研究事業ですので、会期中の録音・録画、3 回のアンケート (事前、事後、1 年後) にご協力いただくことをご了承ください。
3) 相互に協力し合う実践でもありますので、参加学生にも特性に応じて運営・介助の補助にご協力いただきます。
4) 17:00 以降の介助と日中に他の参加学生に依頼できない身体介助は、原則、参加者の自費負担で調整してください。学生をご紹介するなど主催者も相談にはのります。
5) 参加学生が共有できる介助、情報保障の調整は、相談に応じます。

募集定員 15 名程度

応募方法 : 開催要項と研究依頼書を読み、応募用紙を下記連絡先宛に郵送, FAX またはメールで送付してください。参加決定した方には、事前調査用紙 (約 3 頁:学生用、約 2 頁保護者用)、介助についての案内、ワークショップ「しおり」を御送りします。調査と介助申請は 2 週間以内にご返送ください。

応募用紙は 5 月上旬には<http://www.rehab.go.jp/ri/fukushi/ykitamura/kitamurayayoi.html>からダウンロード (MS Word 形式) できます。記入欄の大きさが不足する場合は欄を拡大したり、別ページを追加しても構いません。

応募書類は、用紙への筆記・同内容をコンピュータで作成し印刷した書類・音声録音した媒体を提出することが可能です。音声など特殊な様式を使う場合は再生方法をお尋ねする場合があります。

参加者決定 : 原則として先着順で参加者を決定させていただきますが、障害種別・性別・年齢・過去の参加経験のバランスを考慮します。結果は先着順に順次ご連絡します。

免責事項 : 参加者には保険に加入していただきます。期間中に生じた事故・怪我・盗難について主催者は保険の範囲以外の一切の責任を負いません。研究による負荷については善後策を協議します。

連絡先：問い合わせ先 〒359-8555 埼玉県所沢市並木4-1
国立障害者リハビリテーションセンター研究所 障害福祉研究部 北村弥生
電話：04-2995-3100 内線 2530 FAX：04-2995-3132
メール：kitamura-yayoi@rehab.go.jp

以上